

会員から会員へ

この部分は、会員から会員への公開の通知のために提供されてある。つぎのやうな目的に利用せられることを期待する。 1) 本誌へ掲載された論文の詳報あるひは續報が他の雑誌に掲載された時、その題名、掲載誌名、巻、號、頁、発行年月等を本会員のために通知していただきたい。 2) 本誌へ掲載された論文について、簡単な追加、補遺等を公開せられる時にも利用していただきたい。ただし記事は具體的なことを取り扱つたものであることを要する。字数は400字以内に制限する。

本誌に掲載した原稿の本文は、いづれも規定に従つて書かれてあつたのであるが、印刷になつて規定の4頁を超えたものであつたのは、表の占める廣さについて筆者に誤算があつたためと思はれる。表の占める廣さは、印刷になつても案外減じないものである。例へば、表において10行占めてゐるものは、印刷になつても、そのまま10行を占めることが多い。故に原稿用紙でたとひ規定内(400字詰原稿用紙10枚以内)に書かれてあつても、表が大きいと、印刷になつて4頁以内におさまらないことがある。脚註や挿圖についても同じことがいへる。

最初に寄せられた原稿は、印刷の進行上大抵そのまま掲載したが、これからのは、この點に十分気をつけていただきたい。要するに、表、挿圖、脚註が印刷面で占める廣さを十分に考慮していただきたい。

[編集委員]

* * *

論2 青島盛氏の報告(60) (本誌 1(4): 202-203) へ

青島氏の方法を Zeiss-Ikon の Baby box (俗にドイツの東郷カメラと云ふ)で、F 6.3, 級 11, サクラバンクロ F で室内、陽のあたらぬ側で窓から約185 cm離れた所で約1秒のバルブで、よく撮れた。115倍ライツ 1.3 で接眼鏡の上に bax をちよこなんと載せてとつただけ。

(小山良修)